

宝塚市自治会活動

アンケート調査

報告書



令和 2 年 7 月

社会福祉法人 宝塚市社会福祉協議会

目次

○アンケート回答内容のサマリー・・・・・・・・・・ P 2

○アンケートの詳細

・自治会団体概要・・・・・・・・・・ P 3

・例年実施している自治会活動・・・・・・・・ P 3～5

交流活動

見守り活動

助け合い活動

会議

・自治会活動を行う上で連携している関係機関・・・・・・・・ P 6

・コロナによる自治会活動の影響について・・・・・・・・ P 7

・コロナの影響により新たに浮上した課題について・・・・・・・・ P 9

・コロナ禍で新たに取組んだことや工夫したことについて・・・ P 10

・今後社協に支援してほしいこと、希望することについて・・・ P 13

1. アンケートの概要

(1) 目的

①宝塚市内の自治会で行われている見守り活動や助け合い活動の実態把握を行い、地域福祉活動の推進していくため。

②コロナウイルス感染拡大により、自治会活動へどのような影響が出てきているのかを把握するため

(2) 方法

①調査票の郵送・返信

②WEB を通じたアンケート

(3) 対象・回収率

宝塚市内の全自治会

173 / 277 団体 回答率 62%

(4) 期間

令和2年6月8日～6月26日

2. アンケート回答内容のサマリー

(1) 自治会の団体概要について（詳細はP 3）

①自治会の世帯規模

・自治会内の世帯数は平均で218世帯だった。内訳として、5～1700世帯となっており、自治会の世帯規模にかなりの幅がある。

②活動拠点の状況

・拠点がある自治会は約40%だった。サロンを開催している割合は、活動拠点がある場合で67%。活動拠点が無い場合で8%だった。活動拠点の有無が、サロン活動などの交流活動にも大きく関係している。

③自治会加入の状況

・市内自治会平均加入率は57.38%だが、回答頂いた自治会の加入率の平均値は80.1%となっており、自治会加入率の高い自治会からの回答が多かった。

(2) 例年実施している自治会活動について

①交流活動

・「清掃・美化活動」「防災訓練」の回答が多かった。

②見守り活動

・「緊急時の連絡先の把握」「災害時要援護者支援制度の登録」の回答が多かった。

③助け合い活動

・「特になし」「草刈り・草抜き」の回答が多かった。

④会議

・「役員会」「総会」の実施割合は高かった。また、会議の中で福祉をテーマに話し合いをしている団体は約90%の割合で何らかの見守り活動を行っていた。

※上記①～③の活動に取り組んでる割合は、いずれも集合住宅環境の自治会の方が多かった。

(3) 関係機関との連携について

・全体としてまちづくり協議会を連携先にしている回答が一番多く、交流活動を実施する際に、まち協と連携している傾向がある。見守り活動の実施については、行政、民生児童委員、社協や包括と連携している割合が高かった。

(4) コロナによる影響について

①例年の自治会活動への影響について

・自治会活動や会議は夏まで中止し、秋以降の再開について検討する自治会が大半だった。今後の課題となる活動として、「会議」や「交流行事等」に回答する自治会が多かった。

②工夫して取り組んだ活動について

・主な工夫として、会議は書面評決やオンラインツールの導入、連絡は回覧版やメール等で実施するなどの回答が多かった。

・その他に、外出自粛中に自治会員全員へ即席めんの配布を通じた安否確認、特定給付金申請に必要な添付書類のコピー支援、自治会員へコロナ支援金の配布などの活動があった。

③今後社協に希望する支援内容について

・本項目の回答として、「コロナに関連した情報」に次いで、「支援が必要な方への見守りについて」に回答する自治会が多く、コロナ禍になったことで、自宅にひきこもりがちになる高齢者の安否や健康状態の悪化に危機感を持ち、見守り活動に対する意識が高まったことが伺える。

3. アンケート結果の詳細

(1) 自治会の概要

平均世帯数	218 世帯
平均自治会加入率	80.1%
65 歳以上の自治会員の割合	55.6%
活動拠点の有無	有り 68 無し 101

(2) 例年実施している自治会活動について（複数回答）

①交流活動について

清掃・美化活動	139
防災訓練	111
夏祭りや餅つき大会などの季節行事	83
定期的なサロン	55
敬老行事	55
体操	53
有志による活動	45
学習会	28
その他	27
特になし	9



（その他の内訳 抜粋）

- ・防災訓練
- ・映画会、落語会、食事会、バス旅行
- ・プロジェクターによる映画鑑賞
- ・塔の町まち歩き
- ・歌の会、ピンポン、絵画サークル、麻雀同好会
- ・囲碁、麻雀、手芸
- ・鉢植え講習会等
- ・ちょいわるおやじの会、こどもハイキング
- ・納涼、新年懇親会、バス旅行
- ・夏に行う子ども向けの旅行、秋の旅行
- ・お子さんへのクリスマスプレゼント配布
- ・夏休みラジオ体操

※（2）①交流活動と②見守り活動を工夫した例

（参考）緊急時の連絡先を把握している方々も日頃の交流活動へ声掛け

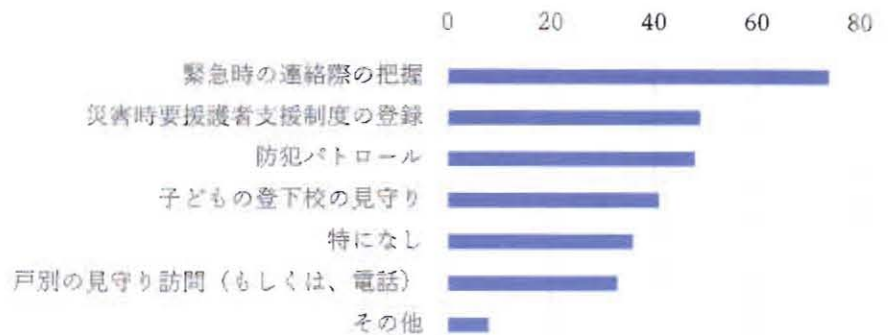
交流活動で回答が多かった項目は「清掃・美化活動」「防災訓練」「季節行事」で、次ページの見守り活動で多かった回答は「緊急時の連絡先の把握」「災害時要援護者支援制度の登録」でした。

自治会の中では、見守り活動を通して把握した連絡先をもとに、防災訓練への声かけや敬老行事の記念品のお渡しなど、日頃の交流にもつながるように取り組んでいるところもあります。

交流と見守り活動を連動して行うことで、より日常的な見守りを行うことができます。

②見守り活動について

緊急時の連絡際の把握	74
災害時要援護者支援制度の登録	49
防犯パトロール	48
子どもの登下校の見守り	41
特になし	36
戸別の見守り訪問（もしくは、電話）	33
その他	8



（その他の内訳 抜粋）

- ・防犯パトロールは家主のURが行っている
- ・自治会独自の要支援者名簿とサポーター登録制度
- ・声掛け。防犯カメラ設置
- ・学校だよりにより、子どもの登下校の見守り
- ・管内学校安全対策委員会にて安全面からの問題点検討及び、防災訓練実施
- ・各戸に連絡網の表示有
- ・防犯パトロール月1回夜間

③助け合い活動について

特になし	78
草刈り・草抜き	58
ゴミ出し支援	31
電球交換	13
買い物、移動、通院支援	12
その他	12
家具や電気器具などの修理、移動など	9
未就園児や学童の預かり	1

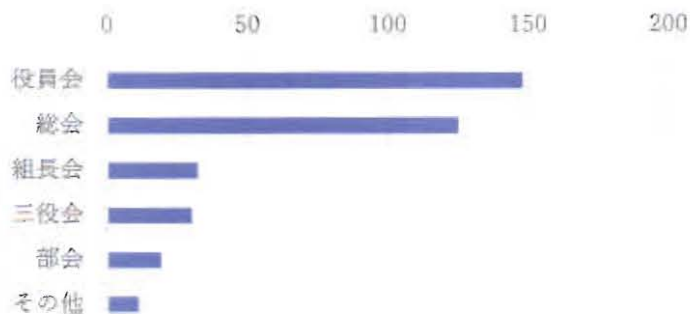


（その他の内訳 抜粋）

- ・春秋の一斉清掃活動時、通学路花壇周辺の一括清掃活動
- ・エレベーター取り換え工事の際、ゴミ出し支援
- ・市民一斉清掃年2回、ゆめ公園芝生水やり他作業
- ・月初めに健在チェック
- ・マンションに付管理組合の業務も可（電球交換）
- ・声掛け運動
- ・自治会役員に要望があれば都度対応

④会議について

役員会	148
総会	125
組長会	32
三役会	30
部会	19
その他	11



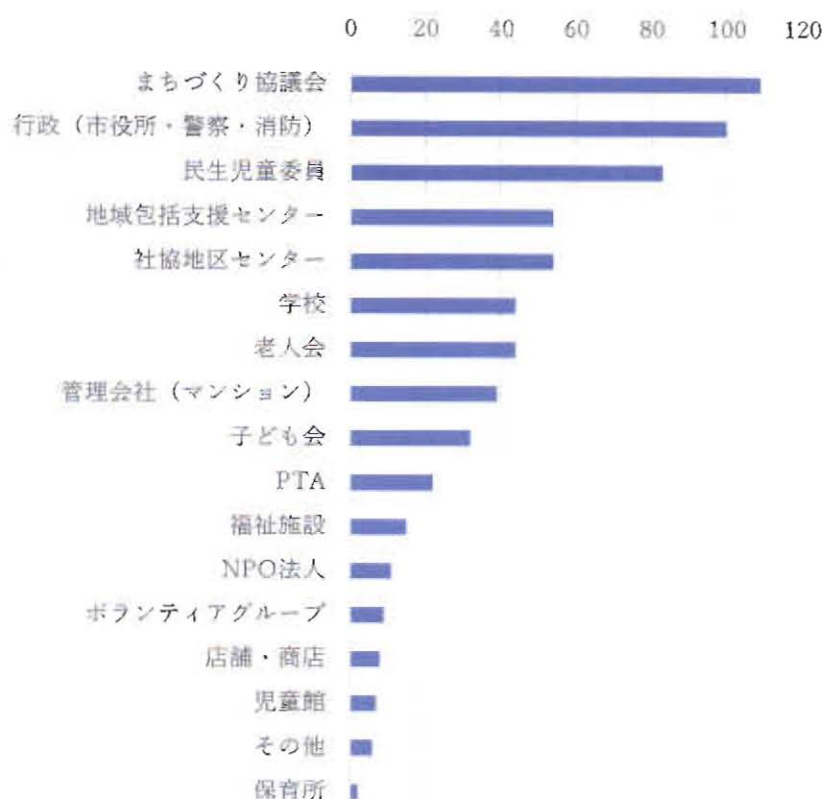
(その他の内訳 抜粋)

マンション内の理事会
 必要に応じ集まる
 サポートすみれクラブ
 自主防災会議
 見守り会議
 まち協理事会、自治会長等連絡会議
 全体会議
 地区長及び各種団体合同会議
 マンション理事会（協同）
 コミュニティひばり防災部会、その他

福祉をテーマとした話し合いの場の実施団体数・・・48団体

(4) 自治会活動を行う上で連携している関係機関（複数回答）

まちづくり協議会	109
行政（市役所・警察・消防）	100
民生児童委員	83
地域包括支援センター	54
社協地区センター	54
学校	44
老人会	44
管理会社（マンション）	39
子ども会	32
PTA	22
福祉施設	15
NPO 法人	11
ボランティアグループ	9
店舗・商店	8
児童館	7
その他	6
保育所	2



（その他内訳 抜粋）

甲子園大学

管理組合、自主防災会

どこに相談すればいいかわかりません

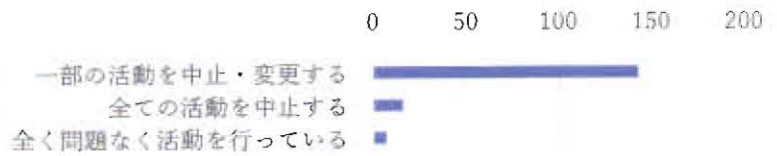
コミュニティセンターとの連携等

R-NET会議

(5) コロナによる自治会活動の影響について

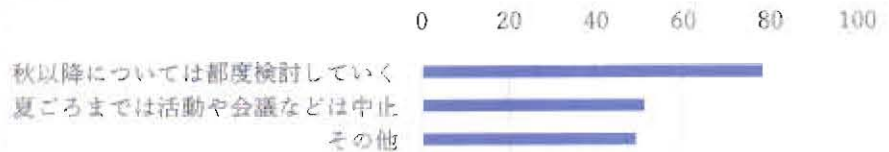
①活動への影響

一部の活動を中止・変更する	143
全ての活動を中止する	16
全く問題なく活動を行っている	7



②（一部の活動を中止・変更する自治会について）どのような対応をしたか

秋以降については 都度検討していく	78
夏ごろまでは活動 や会議などは中止	51
その他	49



（その他内訳 抜粋）

○活動について

- ・清掃活動、桜まつり、夏祭り（盆踊り、納涼の夕べ）、秋祭り、防災訓練、焼き肉大会、バーベキューの中止
- ・レクリエーション活動、カラオケ、いき百、茶話会は中止
- ・活動…朝一、いきいき百歳体操、映画会は6月末まで中止。イベント…バスツアー、福引会は中止。
- ・いきいき百歳体操⇒小グループ化、敬老懇親会（食事会）中止。
- ・体操、カラオケ、ピンポン等のサークル活動、ピアノ教室等の各種教室による自治会館の利用について自粛及び段階的開放
- ・公園の清掃は中止。6月からは再開したが、市からの指導に留意して実施。
- ・掃除美化活動、防災訓練は秋以降検討予定。
- ・日常的な活動は、参加者が高齢のため、6月中まで中止してその後の様子を見ながら体制も含めて検討する。
- ・老人会・100歳体操は6月より実施（いつもは地域の方に声掛けをしていたが、中止）ふれあいサロンについては、飲食カラオケ等があるため秋ごろの予定。
- ・団地内の掃除を今中止にしていますので、今後どのようにしていくか、これから役員で話し合う予定です。
- ・交流会活動、草刈り等は、6月迄自粛。今後感染予防対策を取りながら徐々に活動再開していく予定

○会議について

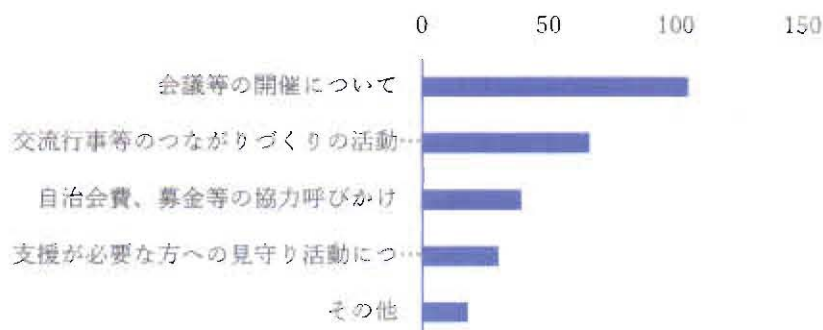
- ・役員全員による会議の中止
- ・役員会・総会は書面にて実施。
- ・役員会は月1回マスク着用、ソーシャルディスタンス、換気を行い実施。
- ・緊急事態宣言が出ている期間のみ月1の掃除を中止（6月より再開）、定期総会中止
- ・5月末までは全ての活動を中止。6月以降、兵庫県、宝塚市の状況と行政の対応を見て活動毎に判断する。
- ・6月より徐々に開始、役員会、組長会を召集。会費及び募金活動の準備を始める。（実質的には7月からか？）
- ・回覧板を中止しています
- ・今は市役所からの配布物については、すべてポスティングとしている。

○開催の工夫

- ・会議は通常人数構成を減らして小規模で実施。
- ・役員会は机椅子の間隔を開けて実施。マスク着用。
- ・分散型少人数会議
- ・三密を避け、時短を心がけて 6 月から役員会、再開。自治会館に消毒用アルコールを準備。トイレ改修済み。
- ・役員会（4 名）は実施。7 月以降の活動は今後検討していく。
- ・役員会は報告・広報・役員認知等の重要案件があるので、短時間、マスク着用で開催、役員全員が了承。
- ・特に決めておきたい事項についてグループ分け（ないしは、時間を区切り）、3 密を避けて実施したく思っています。
- ・現状を見ながら自治会活動を決める予定。役員会は 5・6 月 LINE リモートで実施。
- ・マンション独自の自治会なので、活動としては何もやっていない。基金とかだけで社協とかから送られてくるものに関しては回覧なりに掲示することでマンションの住民に知らせている。

(6) コロナの影響により新たに浮上した課題について（複数回答）

会議等の開催について	105
交流行事等のつながりづくりの活動について	66
自治会費、募金等の協力呼びかけ	39
支援が必要な方への見守り活動について	30
その他	18



（その他の内訳 抜粋）

匿名の会員から、「コロナウイルスの感染拡大が懸念される期間は、自治会の回覧を止めてはどうか」という意見あり。

6月から2か月遅れで活動を行っている。

自治会の中で、感染予防を行う意識の高揚を図るため、情報伝達の重要性の課題を感じた。

消毒液の入手が困難

当マンション内にて、コロナ患者が出た場合のマニュアル作りが必要

コロナウイルス禍見舞金の全戸配布（会員）

コロナのため、新年度の総会ができなかった

一人暮らしの方とのふれあいを高める必要が、こんな時にこそはと思うが、コロナウイルスの場合はふれあうことが難しい。

会館は狭く、びっしり民家にとり囲まれた平屋。「3密」その他環境が悪い。

回覧方法（メールにするなど）

マスクの各家庭への配布（1世帯2枚位）したかった。

5月中まで活動はすべて自粛していた

自治会催し事が中止になった時の代替え案

市の情報、支援の不足

自治会館がなくなり、ひばりステーションを拠点としている所ですが、工事中のため、使用不可となり場所を模索している状態。

自治会費は5月初旬に徴集。見守り活動も兼ねて実施。

対面、集合方式は困難で、書面電話等で対処せざるおえないのが現状。今後の状況を見極めながら感染リスクを最大限避ける方法を模索していく。

週2回有志の会、1回は年配の方の健康体操、麻雀、カラオケ、1回は帰宅後の子どもたちがおやつを食べたり勉強したり遊んだり楽しく過ごしています。

(7) コロナ禍で新たに取り組んだことや工夫したことについて（記述）

○行事について

- ・打ち合わせ連絡会の必要な場合、神社の境内を利用し、密接を考慮しながら会を持った。密接につながる交流イベントに代わり各家庭で活かすことの出来るようなものに替えることを考えたい。
- ・多数を一度に集めることは出来にくい状況が続くと思われませんが、個々のつながりを生かす（これまでの活動）ことを重視してコツコツ行っていき、今後の活動につなげていきたい。
- ・一人住まいの高齢者も入居されているので、お声がけし、有志のいきいきの会がありますので、まだ少人数の活動ですが、楽しんでもらえるような取り組みがしたいです。
- ・大人のいきいき体操を続けていくにあたり、椅子等の消毒、マスクの着用などで対応していく。コロナ禍でもできる取り組みをしていきたい。自治会員を増加させる。
- ・全てが課題としてあがるが、会員の高齢者比率が高く、行事に参加する事、出てくるのが慎重になって難しい。
- ・今後、経済活動が再開されるにつき、それぞれの場所で色々な感染予防の工夫がこらされるものと思う。その成果を見てできることを広げていきたい。しかし、自治会には高齢者が多く用心が必要と思っている。
- ・コロナ禍に対しては活動中の三密を避け、室内においては換気に留意し、年間計画もどのようにするか検討する。
- ・地域の掃除をみんなでやろうと思う。
- ・困ったことがあれば取り組む。
- ・まだこれからの事です。活動が出来てなかったもので、これからの会議で方向を考える。

○会議・連絡について

- ・回覧業務は、会員相互の情報の伝達、共有化の必要性から、継続する。不安のある方は事前に申し出ていただくか、回覧をスルーしてもらう。
- ・回覧は回していなく、重要なお知らせ等は各戸にポスティングしています
- ・掲示板（緊急時は各世帯個別配布）により伝達。
- ・自治会活動については、特に班幹事への連絡に多大な労力を要する。各種サークル活動の連絡は、面識が深いため連絡は容易に行える。
- ・書面総会、役員会(9名)は公園で実施。幹事会(50名)は3回に分けて開催。
- ・現在、月に一度4名で自治会会議を実施。他の理事様には活動アンケートを全員に提出して頂いております。
- ・総会、役員会は中止。役員・会員への連絡は回覧板を使って問題なく行えている。役員間の連絡はLINEなども使えると良いのだが、全員がスマートフォンを持っているわけではなく導入できなかった。
- ・役員会でのオンライン会議の導入について、検討を始める。
- ・役員とは日ごろからメール等で情報交換相談などこまめに行い、コミュニケーションを取りやすい雰囲気を作っておく。
- ・コロナがピークだった時期、幸い町内には調子の悪い人はいませんでした。感染症対策として、面会も手紙のポストインもはばかれて何もできませんでした。次の冬はどうしようかと悩んでいます。
- ・必要な自治会関連団体（子ども会、婦人会、老人会、民生委員等）はソーシャルディスタンスに気遣っています。また、マスク必着を旨とします。消毒液の出入ししようと体温自己確認してもらっています。

○オンラインツールの活用について

- ・当自治会としては、オンライン会議はメンバーから見ても今はやや難しい長期計画としてはあり得る
- ・各世帯をリモートで繋がる手段（LINE・Skype）
- ・必要な時はLINEを用いて会議を行っている。住民の高齢化で、見守りの必要性を感じているが、住民情報不足と任期の短さから中々進められない。コロナの影響により、まだ幹事会もLINE上で必要事項のみ討議する状態であり、今後も開催については様子を見ながら都度検討していく予定である。
- ・ペーパーによる説明、意見交換は、対人関係に限界がある。今後、オンライン会議も検討はするが、パソコン、スマートフォン等を保有されない方もあり、設置へのお願いや利用方法の説明会の開催を検討の予定。意見交換する人間が限定され、多くの方々からの意見（場合によっては、表情等での判断が出来ず）必ずしも意見がしっかり伝わったかどうか確認しづらい。
- ・会議について メール、電話、書類引取りにて活動を進めています。役員にはご高齢の方もいらっしゃるのでWEB 会議は検討していません。会員へのお知らせはポスティングにて対応。回覧板も停止しているので、市や社協からの回覧物は、ポスティング資料にホームページアドレスを記載、現物を読みたい方には班長へ連絡してもらう手筈です。 ※ご高齢や疾患などにより、感染に対しリスクが高い方も役員にはいらっしゃいますし、新しい生活様式が推奨されている事から、今年は出来るだけ集まらずとも活動していけるよう、メール、電話など活用して進めていければと考えています。
- ・今回でも外出自粛もあり、マスコミ以外、他のグループの情報が不明につき、自治会以外とのネットワーク（スカイプやグループライン等）で情報を得たい。

○見守り・助け合い活動について

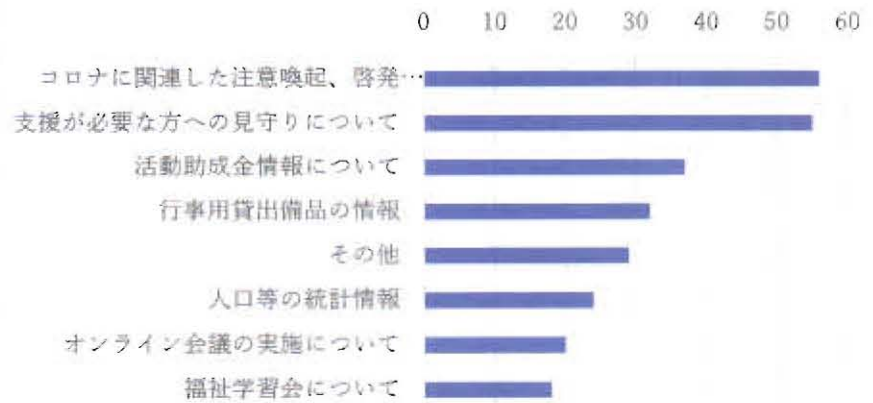
- ・外に出られない方への支援など高齢者の支援
- ・高齢者の方の見守り活動を行う。回覧を回すだけで各自治会員宅に訪問活動をしていない。
- ・住民参加型であって初めて見守り活動出来るのであり、「集会所」を活用して、できるだけ足を運んでいただくようにする。たとえ短い距離を歩いても、日頃から家から一歩も出ないような方々を引っ張り出して少しでも体を動かしてもらいたい。
- ・見守り支援者は押し付けでは喜んで行動できないので、災害や今回のケースでも動いていただける人材を地区別に見つけることと、要支援者のどういう場合に、こうして欲しいの把握まで至っていないので、見守りグループでこれから検討し、改善していく
- ・巣ごもり生活で不自由で不安な毎日を経験している会員に対して幹事さんの協力を得て即席麺を配布、全会委員の安否が確認できた。
- ・特に独居の高齢者で支援が必要な人への見守り。特に災害時の避難行動。高齢者が多く、若い世帯は幼い子どもがいる。
- ・自粛期間中、自治会の少人数で弁当を2回つくり、配布する。
- ・今後コロナウイルスで支援が必要な方について考えていきたい。
- ・40 年以上の築年数であり住民の高齢化もあり。今回の感染威力の高い伝染病には不安とともに精神的ダメージが大きいのではと思われるので、すべてにおいてフォローができる自治会としての窓口が必要かと考えました。困った時の橋渡し（公共の施設）等。
- ・10 万円の給金申請で高齢者はコピーに行けない、出来ないのでは、集会室にプリンターを持ち込み、申請のサポートをした
- ・全世帯に支援金として一律 5 万円の配布済、全世帯にアルコールの配布済。
- ・自治会費より分配金として 1 家庭 10,000 円配布。

○その他

- ・自治会費、令和2年度徴集なし。社会福祉募金一括で（有り）する。
 - ・自治会費について 今後、第2波、第3波を想定し、集金開始の時期を先延ばしするのは得策ではないと判断し、緊急事態宣言が解除されたこのタイミングで実施。対面が不安な方には個別対応を指示。
 - ・募金等は一括で協力することにした
 - ・今年度の自治会費の徴収をしないこととした。
 - ・高齢化に伴う自治会の退会があり、会員数の減少のある中、新しい自治会員の加入を薦めたい。
 - ・地域内の協賛企業への協力金徴収を中止したが、7月に来年以降のご協力依頼と企業活動自粛被害へのいたわり文配布
 - ・市も社協もコロナ禍での諸活動への指針、助言が大変遅い。もっと早く情報が欲しい。
- 医療従事者への支援として、私立病院と医師会へ雨合羽280着寄付。医療従事者への寄付金を集めている。社協の例年通りの寄付金もいいが、新たな事態への対応（寄付金）に市・社協とも対応が出来ていない。

(8) 今後社協に支援してほしいこと、希望することについて

コロナに関連した注意喚起、啓発の情報	56
支援が必要な方への見守りにについて	55
活動助成金情報について	37
行事用貸出備品の情報	32
その他	29
人口等の統計情報	24
オンライン会議の実施について	20
福祉学習会について	18



(その他内訳 抜粋)

○情報・啓発について

- ・今回同封された資料は、今後の活動に生かせるので良かった。他の組織の活動等がわかれば教えてほしい。
- ・コロナに感染した時、子どもや動物をどうするか宝塚でやってもらえることはどんなことか知りたい。例えば、飼い主が感染したとき、どこが預かってくれるのかとかの情報。
- ・福祉活動、見守りなどで大変、優れた活動、先進的な活動をしておられる自治会活動の具体例を詳しく紹介してほしい。その中でその活動の組み立て方、情報伝達、自治会長の苦労話などを聞きたい。
- ・コロナ禍で自治会活動について各種の情報を得たい。助成金を使った活動、見守り、学習会などを具体的にどう進めていくかなどについて。当自治会は近隣の自治会長と絶えずメールでやりとり、情報交換、共同歩調などについて話し合っている。コロナ対策もそれが大変役立った。
- ・「社協と一緒に考える」「こんな情報があったら」という問いかけでなく、「社協と、こんなことが一緒に考えられる」「こんな情報がある」という例を示していただきたい。
- ・毎年、同じ時期に梅雨、大雨、台風、猛暑、熱中症対策そして、気温が下がるとインフルエンザが発生しますが、今まだコロナが収束していない状態で災害や熱中症と重なることが心配です。適格でタイムリーな情報提供に心掛けたいと思います。
- ・簡潔にまとめた情報を流すことが大事。多すぎる情報はないのと同じです。今は全てのことがコロナに関連していると思います。
- ・社協としての助成金情報（個人的）がほしい 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に負けない！チラシを欲しい

○人材、自治会加入促進について

- ・自治会をはじめとする諸活動の推進者（世話役）を見つけ出したり、養成したりする人材確保に協力いただきたい。
- ・自治会員の加入促進活動の支援。特に 30 から 60 代に対する自治会員のメリットを訴求できる支援。現状維持だとこの先自治会の維持が難しくなる。
- ・住人が高齢になってきている。その中で自治会を続けていくことに反対の声があがっている。一部の人ではありますが、今後の問題として考えていかなければならない。
- ・会員の高齢化による退会、新たな入会もない状態このままでは運営が難しくなる。

○見守り・助け合い活動について

- ・個別問題発生時に近隣住民からのスピーディな連絡を集約する方法が求められる。(近隣住民間の付き合いが希薄になっている)
- ・自治会の活動は災害時の助け合いの為に必要だと思います。マンションでも自治会の必要性が言われ自治会に入らない所があります。日頃の近所づきあいの情報は地域の災害時での対応で重要な役割があります。自治会だけでなく役所が官庁との共同で支援が必要な方への見守りの為にも情報共有が必要である。
- ・当住宅は高齢の方が非常に多く、管理会社の方が一人暮らしの方のお宅訪問を定期的に行ってくださっています。個人情報の兼ね合いで自治会役員がどこに一人暮らし、認知症の方がいるか？の把握ができていません。災害などが起きた場合のためにも情報があればと思うのですが、どのようにすればいいのかわからず今日に至ります。
- ・見守りすべき自治会会員の情報を避難誘導すべき消防団に知らせないことを決めている。消防団の幹部からどうすれば良いかと尋ねられている。個人情報の扱い方法の難しさ。
- ・緊急通報システムの緊急ボタンの代わりに「NTT レゾナント」の「goo of things 電球」の適用を検討してください。初期費用 9,800 円 月額 580 円

○社協・行政に対して

- ・福祉は結果としてまちづくりであって、社協としても福祉の存在から「まちづくり」を踏まえた総合的活動に移行されていると評価している。今後もまちづくりのパートナーとして、大いに、お力をお貸し願います。
- ・自治会長・民生児童委員の立場から、社協に対して、地域福祉の向上のために、両者の円滑な協働が図れるよう更なるご支援とご協力をお願いしたい。
- ・社会福祉協議会に対して理解できていないことがある。
- ・住みよいまちづくりに今以上によりしくお願いいたします。いつも見守りをしていただき助かっております。
- ・市として何かにつけて市民に寄り添っている姿勢が見えない。発信の不足。
- ・備品の貸し出しではお世話になっております。

○その他

- ・オンライン会議の導入についての初期費用の助成を考慮願えるとありがたい。自治会ネットワーク会議役員会に於いては協力頂き、実施している。自治会に於いても導入いただきたく…
- ・本年度は是非福祉学習会開催したいです。
- ・PC等を活用した電子化（オンライン・メール等）
- ・総会を行う上で、除菌・アルコール消毒等対策に向けての備品貸し出しができるのか。(年1回のため、購入しても使いきれないと思うので)
- ・子供達と高齢の方との関係が小さいことでもいいので、ここは環境にも恵まれていますので、何か楽しめることが出来たらいいなと思います。
- ・今回助成金につき、申請時の書類の複雑さと使用後の内容報告の困難さにつき申請を断念しました。
- ・マンション自治会であり、活動の内容が親睦的な行事にウエイトがあり、まだ一緒に考えていただく課題を取り上げるレベルになっていません。
- ・地域自治の目的で、輪番制で役員を決め、最低限の活動を行っている現状、行政の下部組織として参加しているつもりはない
- ・当マンションの自治会は会員数が40戸を割るまでに減少したため、4年程前に解散しました。しかし、行政等からの情報収集や周知等に支障が生じるため、マンション理事会内の1～2名で最小限の運営をしているのが現状です。よってコミュニティには属していますが、ほとんどの行事や計画には参画できていません。